

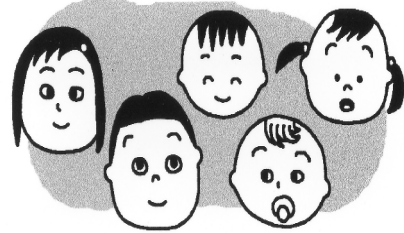
3月21日・鎌形小学校は閉校し、4月より菅谷小に統合されます。跡地利用として地元は子どものための施設を要望していると聞きます。

嵐山町の少子化も進んでいます。平成19年度からの3つの小学校・2つの中学校のこども数は、今後も少なくなることも考えられます。少子化は、子どもが育ちにくい状況です。子どもの育つ環境を豊かにしていくこと・子育てを地域で手助けできる嵐山町にしたいですね。

- 鎌形小学校校舎を小学校入学前のこどものために、嵐山町立幼稚園を移転し、認定子ども園に。
(認定子ども園は、幼稚園と保育園の機能をもたせることができるはじまったばかりの制度です。)
- ※埼玉県条例で認定子ども園は、3才児以上のクラスは定員20名です。(現町立幼稚園は1クラス35名です。)
- ※町内巡回通園バスではなく、当面は直接通園か、おもちゃ図書館など拠点にこどもが集まり、子ども園と拠点の送迎を提案します。(当分の間4,5才児だけでも、0才児からは状況を見て・通園バスは状況で判断しては。)
- トイレ・教室を乳幼児用に改修し、自然豊かな園庭にし、小動物(ウサギなど)を飼育してほしいですね、
- 保育園・他の幼稚園も・小学生や中学生も交流もできるといいですね。
- 子育て支援センターを併設し、家庭で生活している赤ちゃんや幼児も利用できるように。
- 木造の特別教室は、鎌形地区の方の集会所などに利用していただき、地域の方と子どもが交流できるように。

小学校入学までの子どもの居場所別人数(人)

	総数	家庭	幼稚園			保育園	
			町立	町内私立	町外私立	町内	町外
0才	145	125	—	—	—	14	6
1才	154	119	—	—	—	26	9
2才	143	99	—	—	—	41	3
3才	139	64	—	9	9	51	6
4才	161	6	35	26	41	49	4
5才	155	7	34	26	21	59	8
合計	897	420	69	61	71	240	36



嵐山中央区都市再整備計画案(どんな町にしたいですか。)

状況によっては変更もあります。皆さんも検討してください。

	場所	見積り額	予定年度
①	(1) 駅西口ロータリー及び駅進入路のロータリー手前から、国道254に沿った新しい道路を建設。(2) 閉鎖踏切を开通し、駅東側へ通行できるよう改修。	2億9100万円	H19~22
②	駅進入路交差点~菅谷小片側歩道整備	2億5300万円	H20~23
③	駅進入路交差点ポケットパーク	万円	H19
④	歴史跡博物館~大妻嵐山高校・歩道整備	7100万円	H19~20
⑤	なごみ交差点をはさむ歩道整備	7500万円	H20~22
⑥	公民館の耐震改修・エレベーター設置	1億300万	H20~23
⑦	旧役場庁舎取壊し・防火水槽設置	7000万円	H21~22
⑧	テニスコート東側道路整備	2100万円	H23
⑨	中島屋さんの信号~三叉路・歩道整備	7600万円	H20~22
⑩	中島屋さんの信号~梅寿司さん・歩道整備	1300万円	H21~23
⑪	心のケアセンター建設地側の公園整備	1500万円	H19
⑫	東原4-2号線・東原団地へ道路新設	1100万円	H19
⑬	東原4-5号線・東原団地へ道路新設	500万円	H20
⑭	川島49号線歩道整備	1100万円	H19
⑮	平沢土地区画整理事業 (H6~23 総額48億円)	11億8700万円 (組合負担1億8700万)	H19~23
計	国からの交付金 8億600万円 借入金概算額(私の試算) 9億675万円 平沢区画整理組合負担額 1億8700万円 5年間の町支出(私の試算) 3億225万円	22億200万円	H19~23

